

京都嵯峨芸術大学広報

Special Issue

退職記念展に寄せて

News

教職員人事異動／海外研修旅行^{ほか}

Topics

京都嵯峨野文化サロン／平等院表参道モニュメント^{ほか}

Information

入学試験関連情報／展覧会情報^{ほか}



退職記念展に寄せて

木村昭三 ●京都嵯峨芸術大学短期大学部洋画標準コース 名誉教授



木村昭三 K. MURA Shouzou
京都嵯峨芸術大学短期大学部名誉教授

1954年、京都市立美術大学西洋画科卒業
中学・高等学校教員を経て、1972年に嵯峨美術短期大学へ非常勤講師として勤務。翌年からは専任教員として洋画実習の指導にあたる。
2002年3月、京都嵯峨芸術大学短期大学部教授を定年退職。
同年4月、名誉教授の称号を授与される。近年は個展等を中心に活動する。

約30年、2千人近い画学生をみてきたのですから、やはり長かったと感じています。

私の仕事は初めて洋画を本格的に学ぶ若い人達が、発見と感動、表現の「自分流」をいかに組み立てていくかという絵画の基礎の考え方を身につけていってもらうことでしたが、かえって若い人達の新鮮な感覚に、こちらが考えさせられることも多く、お互い修行中といった姿が適当であった様であります。社会的にも変動のあった時期を、たくさんの思い出と共に懸命に通過してきた思いです。

毎年夏期休暇に入ると、岡山県牛窓へ学生とともに写生合宿に行きました。丁度梅雨明けの猛烈な暑さの時期ですが、全員キャンバスをかついでオリーブ樹の茂る丘にのぼり、瀬戸の風景を写生します。オリーブ園の中腹に日展洋画の大家である、佐竹先生のアトリエがありますが、その前でイーゼルをたてて描く度胸のある学生がいて、先生苦笑いの図でした。甲斐八ヶ岳では広い道路にびっしり移動中の5～6cmもある青虫に悲鳴をあげ、木曾御嶽山開田村の宿では、障子を破壊してあばれ、宿の主人から大目玉をくらった学生など、おかしくも楽しい思い出です。

そんな中から次の時代を担い活躍する人材が確実に育ちはじめていることは、私達にとって本

当にうれしいことです。全国組織団体展の審査員であり文化庁から1年フランスに留学した本学非常勤講師のH君、洋画家として注目されつつある人、一級建築士で活躍する女性、中堅教員として地道に歩む人も多く、同窓会に出席してそのパワーに圧倒されます。中には3人の子供をかかえ奮闘するおかあさんもいて頼もしい限りです。

私的に印象深いこととして、私が美大生だった時、よく国内各地を写生して歩きましたが、ある夏、北陸から信越線に入り、新潟長岡の直前、信濃川手前の来迎寺で汽車を降り、稲田とクヌギのはざ木(刈り取った稲を干す木の棚)の向こうに広がる信濃川の風景を描きましたが、その折、近くの村落から毎日見にくる小学生が居たので、村の話や描画の注意などしながら、持ち合せの画帳にコンテと鉛筆で風景画を描かせました。最後の日、その頃、田舎では珍しかった24色の色鉛筆の箱に、「京都市立美術大学 木村」と書いて風景画と共に進呈して別れました。そのまま忘れて40年ばかりたちましたが、本学である日突然再会したのです。その時の小学生が、社用で来京した信越地方有数企業の社長とは驚きました。幸いにも当時、大学図書館長、総合美術研究所所長の名刺が使用できた時期で、面目を保つことができました(彼

は何度も京都市立芸術大学に問い合わせ、私の勤務先が判明したとのことでした)。

その他、戸隠山頂で出会った酒田のOさん、三重県志摩五ヶ所湾の漁師のNさん、熊本から焼酎を送ってくれるKさん、カナダの大学で発生学研究のMさん……。

京都嵯峨芸術大学に学ぶ若い人達に、今しかないこの時代に、大いに各地を旅して沢山の友人と出会うことを進言します。

祖父の旅の記録 100号



木村昭三名誉教授退職記念展
2002年10月29日(火)～11月12日(火)
附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」にて開催
休館日11月3、4、10、11日

伊庭新太郎 ●京都嵯峨芸術大学油画分野 教授

昭和35年頃、二科会よりフランス遊学の機会を与えられ、そのお礼に久我山の東郷青児先生宅に伺った折、丁度、先生は上野の会場に行くところだと云うことで、君も乗れよ、と車で一緒に会場へ向かったことがありました。

当時の先生は人気実力とも絶大で、おまけに刺激的話題の豊富な方でしたので、隣に座っている私はすっかり緊張し、上野に着くまでの長かったこと。途中で先生は話をされたと思うのですが、ただひとつ覚えているのは「伊庭君、教師にはなるなよ」と忠告めいた一言を云われ、誰それは潰れたな、と何人かの実名を挙げられたものですから、鮮烈な印象で心に残っています。

フランス遊学から帰国し、勤めていた百貨店を辞め浪人生活に入り、世過ぎ身過ぎの若労に困り果てている頃、大学時代の恩師川端先生より新設の嵯峨美術短期大学に来ないかとお誘いを受け、非常勤ならと開学に参加しました。

打てば響くように反応してくれる学生達にすっかり教師の楽しさを感じていたところ、後期から専任に任命され、夢のような給料を手にし、後顧の憂いもなく、制作に専念出来るようになり、あの忠告の一言も忘れ教師生活に漬かることになりました。

ところが、いつまでも楽しいばかりでは教師は勤まりません。私とて一人前に、絵画を教育するとは？本来の意味として絵画を教育出来るのか？悩むこともありました。結局は、実作を通じて得た技法・知識・思考法の生々しい経験によって、学生一人ひとりに刺激を与えることしかあるまいと、また、私の活動ぶり、背中を見せて、大いに刺激を与える他ないかと、指導の基本をこのように考えるようになりました。

大学が立派になるにつれ、組織も複雑になった所為が、私にまで器量を越える役が廻って来て、二足の草鞋の軋轢に苦しめられることになりました。しかし活動は鈍化させまいと努力をしたものです。やはり学生には教師の背中を見せたかったのです。学生達が将来自身の画歴に誇らしく私の名前を書いてくれる程の教師になることを願ってましたから。

23年間の学園生活は良き仲間や学生に恵まれ、幸せの一字に尽きるものでした。学園の皆様のご厚情に心より感謝しております。

大方の失笑を買うでしょうが、昔、先生に云われた「教師にはなるな」の忠告を、遅過ぎることにはなりましたが、やっと実現でき、大学の為にも学生の為にも、今もう一度ブレイクしようかなと思っています。



伊庭新太郎 IBA Shintaro
京都嵯峨芸術大学 芸術学部教授

1959年、京都市立美術大学西洋画科卒業
大手百貨店宣伝部勤務を経て、1971年から嵯峨美術短期大学の専任教員として洋画実習の指導にあたる。
2003年3月、京都嵯峨芸術大学芸術学部教授を退職予定。
1987年から2007年まで学校法人大覚寺学園理事を務める。
京展・二科展などで多数受賞、京都府文化賞功労賞受賞、その他審査員等も数多く務める。
二科会理事

SANSUI 130号



伊庭新太郎教授退職記念展
2002年11月13日(水)～11月24日(日)
附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」にて開催
休館日11月18日

人事

名誉教授称号授与

平成14年3月31日に定年退職された短期大学部洋画標準コース木村昭三先生(教授)に名誉教授の称号が授与されました。(平成14年4月1日付)

新規採用教員

短期大学部混合表現標準コース専任講師として、倉山裕昭先生が着任されました。(平成14年9月1日付)

新任教員紹介



倉山 裕昭

現在の私達を取巻く多くのメディア環境は、様々な個人、組織に情報やイメージを発信する機会を与え、その情報量やスピードは日々増大しています。このような状況で私達が「美術」を社会へ提示するというのはどういう行為なのか、また、私達は今後どのようにしてイメージを作り出し得るのか、という事をテーマとし、混合表現という枠内の可能性を探りたいと思います。

人事異動

教授昇格

芸術学部造形学科加藤明子助教授が教授に昇格されました。

芸術学部観光デザイン学科森本武助教授が教授に昇格されました。(両名ともに、文部科学省の8月審査を経て、平成14年4月1日に遡及して昇格)

教員異動

短期大学部混合表現標準コース黒川彰夫教授が同学部洋画標準コースへ異動されました。(平成14年9月1日付)

事務局人事

次年度の新体制を前提として、下記の通り異動が実施されました。(平成14年10月1日付)

事務局長	井上俊夫(総務課長兼任を解く)
総務課長	午居隆平(前教務課長)
教務課長	物部雄次(前教務課係長)
就職課長	三宅一穂(前入試課係長)
入試課係長	牧野光善(前入試課課員)

敬称略

おしらせ

上平貢前学長 勲三等瑞宝章受章



平成6年4月より平成13年3月31日まで、嵯峨美術短期大学の学長として教学改革や京都嵯峨芸術大学の設立にご尽力いただきました上平

貢先生(現京都市美術館長、京都嵯峨芸術大学短期大学部名誉教授、京都工芸繊維大学名誉教授)が、平成14年秋の叙勲で勲三等瑞宝章を受章されました。学園関係者一同心よりお祝い申し上げます。

短期大学部9月卒業式の挙行

平成14年10月10日(木)前期に卒業単位が充足した16名の卒業証書授与式

が挙行されました。三好郁朗短期大学部学長から祝辞が述べられた後、卒業生一人ひとりに対して、卒業証書と記念品が手渡されました。

大型スクールバスの導入

後期から定員70名の大型スクールバスに変更いたしました。平成3年から使用していた中型スクールバスは、導入後10年を経て年々故障も増え、また登下校時間帯の定員超過による積み残しは、阪急松尾駅近辺への不法駐輪問題にも影響を及ぼしていることは否定できませんでした。この度の大型バス導入により、利便性と安全性が向上し、本学関係者の不法駐輪が少しでも減少することを期待しています。

人権概念の普遍性とは

日本での大学が、日常的な教育活動上の啓発活動として人権問題にとりくむようになって日は浅いが、わが大学でも組織的な活動を行うようになったのは最近のことです。

人権委員会を設置し、「セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)」相談員を委嘱するという基礎はできて、具体的な活動の指針を定めて、教職員の共通の意識と実践を学内に定着させるには随分と試行錯誤を要します。特に、学生に向けた理念上の人権啓発と現実に起こった人権侵害からの救済のあいだのギャップは、簡単に公式を当てはめて解決できるものではありません。わずかですが「人権ホットライン」とおして受け付けた相談の経験からも、それを実感させられます。いわば、「アメリカの人権」と「アフリカの人権」をはかる共通基準といったものが、現実にどんなふうにあつたのかは疑問です。

そこまで大きな問題への本格的などくみは当面無理として、社会一般からみれば、教育研究の場という特殊性をもつ大学におけるセクハラや教職員・学生のあいだでの権利侵害(各種のアカデミック・ハラスメ

ント)を人権問題として自覚するための『人権講演』研修を学内で積み重ねようとしています。京都弁護士会内につくられている人権問題研究会に依頼して、昨年の《セクシュアル・ハラスメントと人権》(大脇美保弁護士)につづいて、今年は《今何故セクシュアル・ハラスメント? -セクシュアル・ハラスメントの防止に向けて-》(岡田美保子弁護士)の「両性の平等に関する委員会」での研究をふまえての講演を設定しました。

“官製”のマニュアル(厚生労働省中心)とは別の切り口で注文した講演の中に出てきた、「今何故セクハラが問題になってきたのか」を考ふるキーワードを列挙すれば、女子差別の現実、女子労働人口増加、女子能力活用の必要が背景になり、「何をいませら」、「この程度なら」から生じる「キレイダネ」、「女のヒステリー」、「性的な噂ばなし」等々の「口」的侵害にはじまる諸々の「チカン」実行行為、さらに「DV」に及ぶ女性の人格破壊が進行中という日本の現実が示されました。

人権委員会委員長 深田 進

前期海外研修レポート

海外美術研修 ～エディンバラ美術大学 サマースクール～

7月2日(土)から8月1日(日)まで16日間の行程で、スコットランドのエディンバラ美術大学にて、本学の学生21名がサマースクールに参加した。

ドローイング、アニメーション、イラストレーション、タペストリー、版画等の様々なコースから参加者が事前に希望のコースを選択し、月曜日～金曜日の平日実習を行った。教員はすべてエディンバラ美術大学の外国人教員で、参加者は言葉の違いに戸惑いながらも異文化コミュニケーションを楽しみ、実習に取り組んでいた。

本学の学生以外には、ヨーロッパ圏からの参加者が多く、異文化を持つ人と時間を共に過ごすことは学生にとって貴重な経験になった。

実習以外にも、放課後の美術館見学、サマースクールスタジオツアー、教員によるレクチャーの他、実習終了後の修了証書授与式、お別れパーティーなどのアクティビティがあった。週末には、みんなでグラスゴー(1)を訪れたり、空き時間には、エディンバラ城をはじめとするエディンバラ観光を各個人が満喫していたようである。

エディンバラ滞在中は、大学から徒歩約20分のところにあるフラット(2)で共同生活を送った。毎日寝起きを共にした同じフラットの仲間(3)の間には、また新しい友好関係ができたのではないだろうか。

このエディンバラサマースクールは、単に「海外美術研修」という科目としてだけでなく、以前より交流のあるエディンバラ大学と、一層友好関係を深めるといえる意味も持っている。今回のサマースクールも、その意味でよい研修になったと言えるのではないだろうか。



- 1)イギリス連合王国の北、スコットランド最大の80万都市。産業と学問の中心地。
- 2)共同生活用のアパートのようなもの。
- 3)4人組で一つのフラットを使用。ベッドルームが個別にあり、キッチン、シャワー、トイレは共同。

教務課 / 堤 実恵

総合プロジェクト ～シンガポール研修～

今夏、芸術学部観光デザイン学科の主催による「アーバンツーリズム」をテーマにしたシンガポールへの海外研修を行った。

初めての海外研修であったが、研修結果を取りまとめた研修論文や参加者の記録などからも、多くの成果が得られたことが伺われる。特に、ガーデンシティー構想、アジアツーリズムキャピタル構想、エスニックタウンプロジェクトといった先進的な観光デザインだけでなく、研修を通して見えた発展の限界や必要な環境対策の遅れなど、シンガポールが抱える可能性と本質的な課題を学ぶことができ、予想以上の感度の高い手応えを覚えた。

来年度も本年を越える総合プロジェクトとなるように、継続して取り組んでいきたい。

研修概要

研修テーマ... シンガポール都市観光の魅力を探る(真村から、世界から人々が集まる魅力的な都市を創出したシンガポールの観光について、ガーデンシティーのランドスケープデザイン、シンガポール観光ビューローの観光推進事業、12のテーマ地区の街づくり計画、ナイトサファリ、テーマパーク、リゾートアイランド開発等、都市的魅力の創出の現場を体験し、徹底した観光デザイン手法を学ぶ。60時間以上の実地研修を行うものとし、事前指導並びに講義を行い、事後報告書を提出する。

期間...平成14年7月24日～8月3日(16日間)

参加者...合計16名(観光デザイン学科/10名、1年生6名、指導教官2名)

訪問・視察先...政府系機関(シンガポール観光局、都市再開発庁、サンテック国際コンベンションセンター)、シンガポール造園学会、まちづくりフィードバック(チャイナタウン、リトルインド、アラブストリート)、ウォーターフロント(ポートキー、クラーキー、リパークルーズ、ベイクルーズ)、エンターテインメント(ナイトサファリ、セントーサ島)、文化(シンガポール美術館、中国茶芸)、リゾート(ピンタン島、マングローブツアー)他

研修結果...シンガポールレポート(研修記録、研修論文を報告書として取りまとめた)

芸術学部観光デザイン学科
教授 坂上 英彦

インターンシップ報告

第一回インターンシップ無事終了

芸術学部共通科目に設置されている「総合プロジェクト(インターンシップ)」(担当教員:観光デザイン学科桑田政美教授)が、8月と9月の2期に2週間かけて実施された。

「高等教育における創造的人材の育成」を目的のひとつとして文部科学省も奨励し、この制度が始動して約5年が経つ。本学では、四大開設時から授業として設定しているが、単位認定を前提にしている大学は全国で約35%という程度である。

今回の受講者は6名で、京都府観光局、歴史街道推進協議会、高台寺、大宝企画、(株)プロファクトリー、(株)マッシュの6社にご協力をいただいた。学生の満足度アンケートでは全員が「大変よかった」と感想を寄せており、第一回目のプロジェクトは意義あるものになったようである。

総務課 / 午居 隆平(前教務課長)

オープンキャンパス実施結果

8月1日(木)から3日(土)までの3日間、オープンキャンパスを実施した。芸術学部・短期大学の各学科・コースが、さまざまな体験実習と実技講習会を開催して、合計778名の参加があった。(高校生62名、一般ならびに保護者15名)

また、9月2日(月・祝)にもオープンキャンパスを実施したが、9月開催は本学としても初めての試みである。このオープンキャンパスは、実技講習会と進学相談コーナーを中心に行った。合計363名(高校生26名、一般ならびに保護者102名)が来場し、実技講習会には109名もの参加があった。受験生にとっては進学を希望するコースの内容確認や、入試での実技試験にむけて作品の習熟度を向上させる良い機会になったのではないだろうか。

来年も9月にオープンキャンパスを実施し、受験生、さらには保護者の方々にも収穫のある一日にしていくことができればと期待してやまない。

入試課 / 寺田 裕

T 特別講座

「韓国人の海外旅行事情」

観光デザイン学科主催のもと、6月12日(水)に「韓国人の海外旅行事情」と題した特別講座が開催された。

関西で最も活躍する韓国人女性として現地のTV等でも有名な在阪旅行会社経営の李容淑(リー・ヨンス)氏を講師に迎え、スポーツイベントの日韓共同開催や、さまざまな文化交流を通じてようやく身近に感じられるようになった韓国人々が、どこへ旅し、何を楽しむのかなど、豊かな国際交流体験に基づいた講演を拝聴した。

T 京都嵯峨野文化サロン

第一回企画開催

「京都嵯峨野文化サロン」は、旧嵯峨御所大本山大覚寺と大覚寺学園京都嵯峨芸術大学が連携して、自然と文化が調和する嵯峨野の伝統を探り、新たな魅力の発見や現代人の美意識に合った新しい文化や芸術を創造し、この地「嵯峨野」から発信していくことを目指し開設したものである。

今年度は、9月28日(土)と10月5日(土)の両日、「京都嵯峨野に探る平家物語の世界」をテーマに開催した。

第一夜、「宮尾本平家物語」や直木賞作品「一絃の琴」などで有名な宮尾登美子氏には、「女が描く平家物語」と題して、華々しい社会に生きながらも、悲哀に満ちていた女性たちの生き方について、宮尾氏の日常や「宮尾本平家物語」の裏話を交えご講演いただいた。

また、歌舞伎、舞踊の世界で活躍し、ツトム山下氏や日野皓正氏といったジャズ、クラシック、ポップスの世界で活躍するアーティストたちとの共演など、幅広い音楽活動を展開されている横笛奏者の藤舎名生氏には、「祇王」「敦盛」「壇ノ浦」の三曲を、藤舎氏の演奏に対する考え方や最近の活動などのお話を交え、ご演奏いただいた。藤舎氏の幽玄な横笛の音色が会場である大覚寺宸殿に響きわたり、参加者(250名)を魅了した。

第二夜、大佛次郎賞作品「平家物語」

「京の工芸から街づくり」

観光デザイン学科主催の特別講座として、6月15日(土)に「京の工芸から街づくり」と題した講座が開催された。

幅広い領域のデザインにおいて、日本文化の歴史的復元運動を精力的に展開されている黒竹節人氏を講師に迎え、新しい時代のクラフト運動や伝統建築への提唱、地域開発などを進める総合的デザインのプロデュースなど、文化のビジネス化へチャレンジされている自身の活動を例にご講演いただいた。

の著者でもあり、長年にわたり文学者として教育・研究活動を続けてこられた杉本秀太郎氏に「非力の人々」と題してご講演いただいた。

また、前田流平家琵琶を修得され、国内はもとより、フランスやスイスなど海外公演でも精力的に活動されている橋本敏江氏には、嵯峨の地を舞台とした「横笛」の弾き語りをお願いした。蠟燭のあかりの中、大覚寺御影堂から心経殿と内陣に向かって奉納という形で弾き語られた平家琵琶は、会場の厳肅な雰囲気と相まって、参加者(198名)を平家物語の世界へ誘った。

両夜とも、特別にライトアップされた大覚寺境内は、伝統的な建造物の持ち合わせる存在感や庭木のシルエットなど、テーマである平家物語には相応しい会場として、参加いただいた方に有意義な時間と空間を提供できたのではないだろうか。



宮尾登美子氏



藤舎名生氏



杉本秀太郎氏



橋本敏江氏

T 教育後援会報告

保護者懇談会(大阪地区)開催

9月21日(土)、大阪全日空ホテルにて本学教育後援会主催の大阪地区保護者懇談会が開催された。60名の保護者と教育後援会役員、芸術学部・短期大学部各担当教員が出席し、所属学科・分野・標準コースに分かれて、教学関係や学生の教育環境等について懇談した。

今回は、平成15年2月実施の卒業・進級制作展期間中に開催予定。

T 教員の活躍

朝日陶芸展 秀作賞受賞

「第40回記念朝日陶芸展」で、短期大学部陶芸標準コース池田八栄子助教の作品が秀作賞を受賞した。

受賞作品「Yellow Vessel」は、「軽く柔らかい様」をテーマに制作された陶芸作品で、円形の底に厚さ約3mmに伸ばした板状の土をフリーハンドで巻き付け、黄色や緑色で色づけされている。バランスをとることと、乾燥のタイミングが難しく、何度も失敗を重ねた力作である。



著書紹介

短期大学部大竹仁子教授(講義部門)が、今年6月スーザン夫人の著作「ドイツ論2 - 文学と芸術」の訳書(共訳)を鳥影社より出版された。本書は、「ドイツ論1 - ドイツ概観」「ドイツ論3 - 哲学と宗教」に続くもので、ロマン主義に多大な影響を与えた大作の完訳である。

愛宕古道街道灯し

「愛宕古道街道灯し」は京都の催事のひとつで、愛宕山に登る起点の町、奥嵯峨鳥居本町において8月23日(金)と24日(土)に行われた。

この祭りには毎年短期大学部インテリアデザイン標準コースの担当教員と学生が参加しており、祭りの日には、学生たちが制作に取り組んだ巨大提灯が旧愛宕街道沿いに設置され、提灯・灯籠あわせて約600個に灯されたろうそくの明かりに、古い町並が彩られる。

提灯は、嵯峨野の竹を伐採してつくられた骨組みに和紙を張り合わせたもので、最も大きな提灯は高さ8mもある。

デザインとは何かを追求する素材として「愛宕古道街灯し」は、学生に祭りの楽しさ、新鮮さを体感させることができ、フィールドワークとデスクワークを結びつけることのできる重要な制作活動のひとつとなっている。

ソウギョバスターズ

芸術学部観光デザイン学科真板昭夫教授がフィールドワークの一環で行っているプロジェクトのひとつにソウギョバスターズがある。

観月の名所・大覚寺の大沢池では、11年前に放たれた外来魚のソウギョによって生態系に狂いが生じ、植物の自然環境が侵されている。そこで真板教授を中心として本学学生、造園計画の研究者や地元の漁連、地域の人々の協力を得て、大沢池の美しい景観を取り戻すためのプロジェクト「ソウギョバスターズ」が結成された。

活動は昨年8月から10年計画で行われている。第1回はソウギョを捕獲し発信器をつけて放流し、その生態系を調査。第2回は今年2月に行われ、池の水を抜いての大規模な水質調査を実施した。第3回は短期大学部陶芸標準コース協力のもとに行われた底泥による陶器制作実験。第4回となる今回は、大沢池周辺を中心とした樹木位置や水深などの実測が行われた。

[ソウギョバスターズ公式サイト]

<http://www.f2d.net/sb/>

平等院モニュメントを公募

環境省が全国から選定する「かおり風景100選」に宇治市の平等院表参道が選ばれた記念として、宇治市と地元の商店会によってモニュメントが設置されることになった。本学の故谷口啓司先生のご縁もあり、本学の学生による学内コンペとして作品募集を行った。

彫刻、観光デザイン、グラフィックデザイン、イラストレーション、インテリアデザインの各コースおよび専攻科より17点の力作が集まり、専攻科三次元表現の小村千晶さんの「飛雲」が宇治市長賞(決定作品)となった。11月24日の竣工式では、佳作に入選した専攻科三次元表現の多田一喜さん、イラストレーション標準コースの一柳茜さんとともに表彰される。



「飛雲」ミニチュアモデル

大覚寺観月会 専攻科生 インスタレーション作品展示

短期大学部専攻科三次元表現では、4年前から基本的な個人制作をよりグレードアップするために学生合同制作でのインスタレーション作品を展示公開してきた。

昨年度から大覚寺の協力により、観月会開催時の境内使用計画が成立したため、新しい角度での制作が可能となり、学生達は伝統ある広い空間と環境に大きな創作意欲をもって作品制作に挑むことができた。今年度も観月会に合わせて、境内のあらゆる場所で学生作品が展示され、好評を得た。



専攻科デザイン専攻選抜展

短期大学部専攻科デザイン専攻選抜展が、7月16日(火)~7月31日(水)の16日間、京都四条のドコモモバイルメディアラボ京都で開催された。

この展覧会は、ガクシン(きょうと学生新聞)により企画されたもので、祇園祭で賑わう四条通り沿いに位置する会場には、専攻科の在学学生6名、修了生1名の学内選抜作品が展示された。

ポルタモダンアートプロムナード ~ 彫刻の並ぶ散歩道 ~

京都駅前地下街ポルタを会場とした展覧会が、10月4日(金)~11月4日(月祝)に開催された。芸術学部造形学科彫刻分野の平松國和教授を中心にコーディネートされ、同学部彫刻分野の学生作品16点が出品された。

このアートイベントは、イメージモニュメント「紅葉のモミジ」(芸術学部彫刻分野/山内麻起子教務助手作品)を中心に大型彫刻・造形作品を地下街全域に点在させ、京都駅を利用する多くの方々に、京都の若手作家の最新作品を紹介する趣旨で開催されたものである。



展覧会のおしらせ

短期大学部 美術・工芸作品展

短期大学部日本画・洋画・混合表現・染織の各標準コースに在籍する学生による作品展が、京都市左京区のカナート洛北にて開催される。平面作品を中心に約30点が出品される。

会期...平成15年2月17日(月)

~2月23日(日)

会場...カナート洛北「カナートガーデン」
(京都市左京区高野西開町36番地)

入学試験関連情報

すでに推薦入試、社会人入学特別選抜などが始まり、本格的な入試シーズン到来となりました。一般入試では、芸術学部・短期大学部ともに東京会場と岡山会場での受験も可能です(右記参照)。また2月には、芸術学部三年次編入学の後期入試ならびに短期大学部専攻科の後期入試を実施する予定です。詳細に関しては入試課までお問合せください。

[入試課] TEL075 864 7878(直)

nyush@kyoto-saga.ac.jp

2003年度 入学試験日程			
京都嵯峨芸術大学			
試験種別	試験地	出願期間	試験日
推薦入試	京都・東京・岡山	2002 10 /21(月)~11 /6(水)	2002 11 /11(月)
一般入試(前期)	京都・東京・岡山	2003 1 /6(月)~1 /22(水)	2003 1 /27(月)
一般入試(中期)	京都・東京	2003 2 /5(水)~2 /24(月)	2003 2 /28(金)
一般入試(後期)	京都	2003 3 /3(月)~3 /17(月)	2003 3 /21(金・祝)
入学特別選抜 (社会人・海外帰国生・外国人留学生)	京都	2003 1 /6(月)~1 /20(月)	2003 1 /27(月)
京都嵯峨芸術大学短期大学部			
試験種別	試験地	出願期間	試験日
自己推薦入試	京都	2002 10 /15(火)~10 /29(火)	2002 11 /3(日)
推薦入試(前期)	京都・東京・岡山	2002 10 /21(月)~11 /6(水)	2002 11 /10(日)
推薦入試(後期)	京都	2002 12 /2(月)~12 /11(水)	2002 12 /15(日)
一般入試(前期)	京都・東京・岡山	2003 1 /6(月)~1 /22(水)	2003 1 /26(日)
一般入試(中期)	京都・東京	2003 2 /5(水)~2 /24(月)	2003 2 /27(木)
一般入試(後期・自己表現)	京都	2003 3 /3(月)~3 /17(月)	2003 3 /22(土)
入学特別選抜 (社会人・海外帰国生・外国人留学生)	京都	詳細は入試課まで	2002 11 /3(日)他

11月以降開催の特別講座

開催予定日時	講座名(テーマ)	講師名	主催
11 /7(木)13:00~	京都エコ交通・自転車を活かすまちづくり	右衛門佐美佐子氏	芸)観光デザイン学科
11 /7(木)14:20~	ニュージージーランドの観光とエコツーリズムについて	小林天心氏	芸)観光デザイン学科
11月中~下旬予定	メディアアートの現在	竹内創氏	芸)メディアアート分野
11 /12(火)16:00~	ヨゼフ・ホフマンとウィーンのデザイン	吉村實氏	短)生活デザイン標準コース
11 /26(火)16:00~	インドネシア諸島の染織と民族文化	増山紀代氏	短)生活デザイン標準コース

一般の方の聴講も歓迎します。ご興味のある方は教務課までお問合せください。

お申込み・お問合せは[教務課] TEL075 864 7867(直) kyomu@kyoto-saga.ac.jp

附属ギャラリー 展覧会情報

会期	展覧会名
10 /29~11 /12	木村昭三教授退職記念展
11 /13~11 /24	伊庭新太郎教授退職記念展
11 /26~12 /8	吉武賢教授遺作展
12 /10~12 /20	マイカメラ・マイスタイル・マイフォト
2003 1 /14~1 /18	観光デザイン学科ドローイング展
2003 1 /21~2 /2	西真教授退職記念展
2003 2 /5~2 /16	芸術学部造形学科進級制作展
2003 2 /18~3 /9	研究生展
2003 3 /11~3 /16	グラフィックデザインコース卒業生および専攻科作品展

本学附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」では、左記のとおり展覧会を開催する予定です。休館日等の詳細に関しては附属施設課までお問合せください。

[附属施設課]

TEL075 864 7875(直)

lb@kyoto-saga.ac.jp

専任教員 展覧会情報

10 /1~11 /30	奈良平宣子アクセサリー展	ギャラリーマロニエ3階(京都)	奈良平宣子 生活デザイン
10 /9~11 /24	第40回記念朝日陶芸展	福井県陶芸館(福井)	池田八栄子 陶芸
10 /12~11 /4	第6回国際陶磁器展美濃国際陶磁器コンベンション	セラミックパークMM展示ホール(岐阜)	池田八栄子 陶芸
11 /1~11 /16	個展	ギャラリーブチフォルム(大阪)	泉地保雄 洋画
11 /3~11 /14	第29回創画展	京都市美術館(京都)	土手朋英 日本画
11 /5~11 /10	7人絵画展	京都府立文化芸術会館(京都)	入佐美南子 油画
11 /5~11 /17	個展(東西のヴェニス・スケッチ展)	ギャラリーα(京都)	黒川彰夫 洋画
11 /16~12 /10	個展	ギャラリー器館(京都)	池田八栄子 陶芸
11 /17~11 /24	二紀展	京都市美術館(京都)	泉地保雄 洋画
同上	同上	同上	伊勢信子 イラストレーション
11 /19~11 /24	あじさい111人展	ギャラリーあじさい(神戸)	黒川彰夫 洋画
11 /19~11 /24	個展	ギャラリー16(京都)	日野田崇 陶芸
11 /19~12 /1	第29回創画展	愛知県美術館ギャラリー(愛知)	土手朋英 日本画
11 /28~12 /8	第87回二紀展	京都市美術館(京都)	伊庭新太郎、入佐美南子 油画
同上	同上	同上	黒川彰夫 洋画
12 /3~12 /15	サムホール展	ギャラリー古今(大津)	黒川彰夫 洋画
1 /23~1 /27	アートでキョートな大人のバック展	キャラン(神奈川)	奈良平宣子 生活デザイン
1 /25~2 /23	第40回記念朝日陶芸展	高浜市やきもの里から美術館(愛知)	池田八栄子 陶芸
1 /25~3 /16	現代陶芸の華	茨城県陶芸美術館(茨城)	日野田崇 陶芸
2 /5~2 /8	染織展	京都市美術館別館2階(京都)	吉水絹代 染織
2 /6~2 /13	第16回バスターリー展	山脇ギャラリー(東京)	芦原祥子 染織
2 /10~2 /15	PR SUM	The Mall Gallery(イギリス)	奈良平宣子 生活デザイン
2 /25~3 /2	京都工芸美術作家協会展	京都府立文化芸術会館(京都)	吉水絹代 染織
2 /27~3 /26	第40回記念朝日陶芸展	堺市立文化会館(大阪)	池田八栄子 陶芸
3 /2~4 /20	柳原睦夫と現代陶芸	高知県立美術館(高知)	日野田崇 陶芸
3 /25~3 /30	二紀関西支部彫刻展	アートスペース上三奈(奈良)	伊勢信子 イラストレーション

期間、展覧会名、会場、出展者 所属の順に記載(敬称略)。非常勤教職員の展覧会情報はWEBサイトをご覧ください。

学園祭

今年の嵐芸祭のテーマは「次世代芸大」です。芸術が混沌としている時代、新しく覚醒した本学は、しっかりと次の世代に受け継がれていく芸大であろう、という思いと共に開催されます。

日時...11 /22(金)~11 /23(土)

10:00~19:00

内容...嵐山展覧会、サークルイベント
吉本ライブ 等

前祭...11 /4(月・祝)氣志團コンサート

附属博物館 企画展

「版画になった郷土玩具」

時代と共に変わりゆく郷土玩具の収集と調査に力を注ぎ、それらを描き写して木版画に残した日本画家川崎巨泉氏。巨泉氏の版画を実際の玩具と対比させながら、その移り変わりをご高覧ください。

期間...10 /1(火)~12 /22(日)

時間...10:00~18:00 入場無料

休館...毎月曜日、入試準備・入試当日

お問合せ... TEL075 864 7852(直)

museum@kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨芸術大学広報

第2号

2002年11月1日発行

編集 京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行 学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL075 864 7859

FAX075 882 7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷 株式会社ダイコウテック